

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 一宮市立千秋小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒491-0804
一宮市千秋町佐野字北浦136番地

E-mail : tiaki-e@city.ichinomiya.aichi.jp/~tiaki-e/

Website : http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~tiaki-e/

児童生徒数：男子 201名 女子 206名 合計 407名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域の産業・人とのつながり）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校の教育目標は「健康で、自ら学ぶ、心豊かな千秋っ子の育成」である。めざす児童像として、「自ら学び考える子(知育)、明るく思いやりのある子(徳育)、健康でたくましい子(体育)」の育成を掲げている。「花いっぱい・友だちいっぱい・夢いっぱい」を合い言葉に、ESDの視点から「地域を愛し、地域にすすんで働きかける子」の育成を目指している。

1年間の活動の様子を①地域の産業や文化、環境についての学習、②地域の方と触れ合う活動、③地域に働きかける活動、④地域に情報を発信する活動の4つの観点から報告する。

<1年間の活動内容>

4月	2年:カブトムシ教室(生活) 6年:野草を食べる会(総合)
5月	4~6年:クラブ活動(通年) 5・6年:田植え(総合)
6月	1年:サツマイモ栽培(生活) 2年:町探検(生活) 3年:トンボ教室(総合) 4年:ツルレイシ栽培(理科)、資源回収(総合) 5年:メダカ教室(理科)
7月	6年:浮野古戦場跡見学(社会)
9月	1・2年:生き物となかよし(生活) 3年:ねぎ定植(総合) 全校:千秋音頭(音楽)
10月	2年:小松菜栽培(生活) 2年:福祉施設訪問(生活) 5・6年:米の収穫(総合) 5年:シイタケの収穫(総合)
11月	1年:サツマイモ収穫・パーティー(生活) 4年:資源回収(総合) 全校:ごみゼロ活動(行事)
12月	2年:小松菜パーティー(生活)
1月	4年:資源回収(総合)、石ころアート(図工) 全校:学習発表会(総合)
2月	5年:おはぎづくり(総合)、シイタケの菌打ち体験(総合)
3月	3年:ネギ収穫・ねぎ焼きパーティー(総合)

① 地域の産業や文化、環境についての学習

(特産物栽培・町探検・浮野古戦場址見学・千秋音頭・特別授業等)

【活動のめあて】地域の伝統的な良さや歴史的な重み、環境の大切さに気付かせ、文化や伝統、環境への理解を深める。

3年生は、「千秋ねぎの栽培」を学習した。千秋で以前から行われていた「ねぎの栽培」に目を向けさせ、地域の特性を知り、体験をすることで、農業を肌で感じとることができたようである。

地域の特産物である「千秋ねぎ」が育つまでには、いろいろな世話があり、その過程を地域の方とふれあいながら学ぶことができた。そして、収穫したねぎを使って、講師の方へのお礼を兼ねて、ねぎ焼きパーティーを楽しんだ。



千秋ねぎの定植方法を教えていただき、9月には、実際に定植しました。

6年生は、地域の歴史学習として、浮野古戦場について学んだ。地域の方から話を聞いて、千秋町で織田信長が戦をしたということを知り、昔の出来事に思いを馳せたようである。



地域の保存会の方が、浮野古戦場の様子について熱心に話をしてくださいました。

全校児童が、地域の保存会の方に踊り方を教えていただき、運動会で親子一緒に千秋音頭を踊りました。毎年の積み重ねで、年々うまく踊れるようになった。



地域の名前がついた『千秋音頭』を後輩たちに大切に伝えていきたいと話す子がいました。

② 地域の方と触れ合う活動

(クラブ活動・福祉施設訪問等)

【活動のめあて】地域の方と触れ合い、地域の良さや温かさに気付かせ、郷土に愛着がもてるようにする。

本校のクラブ活動は、地域の方がゲストティーチャーとして来校し、指導してくださる活動が多数ある。4年生、5年生、6年生の児童が希望したクラブに参加している。地域の方が来てくださったクラブには、次のようなものがあった。

バドミントン・卓球・グラウンドゴルフ・英語・オセロ将棋・手話・囲碁・お茶・お花

日本の伝統文化を学んだり、視野を広げ将来の活躍の場を見つけたりするのに役立つ活動が中心となる。地域の方に育てていただき、児童が生き生きとしている姿があちこちで見られた。



お茶クラブでは、生花や掛け軸を飾り、作法を丁寧に教えていただきました。



卓球クラブでは、構えや打ち方を一人一人に優しく教えていただきました。

③ 地域に働きかける活動

(資源回収・ごみゼロ・緑化活動等)

【活動のめあて】保護者や地域の方々とともに環境を守る活動を行い、将来にわたり地域の環境を大切に守り続けることができる。

年に3回、早朝から各町内でPTAの方々による資源回収を行った。4年生は、総合的な学習の時間の環境学習の一環として、資源の分別の手伝いをした。資源回収で分かったことや困ったことなどを話し合い、よりよい資源の生かし方について考えることができた。



保護者や地域の方とあれこれ話しながら、資源を分別することの大切さを学びました。

学校の自慢となる緑化活動やFBC（フラワーブラボーコンクール）活動に熱心に取り組んだ。地域の方や保護者のボランティアにも協力していただき、種から花を育てたり、あじさいロードやオレンジロード、ドングリロードなどの整備をしたりした。校庭の中心にあるメイン花壇の花の配置は、児童から募集し、選ばれたものである。毎年、自分の作った設計図通りの花壇が出来上がるのを楽しみにしている子が多い。写生会の季節には、花壇の前に座り、描いている子が多くいた。

また、地域の花壇に花苗を植えたり、地域の見守り隊の方や保護者にも花苗を配布したりもした。



千秋小学校の校庭の様子は、季節によって様子が変わります。色彩豊かで、実のなる木が多い学校は、児童の自慢の場所です。友達や人とのつながりも、ここで育まれました。

④ 地域に情報を発信する活動

(学習発表会・地域だより・学校新聞・ホームページ等)

【活動のめあて】保護者、地域住民に地域学習の成果を発表し、地域の誇りと愛着を育むことができる。

1月末に学習発表会を実施した。

保護者とともに地域の方々に参観していただき、群読、合唱、劇など学校での学びを地域の方に学年の発達段階に応じて伝えた。児童の学びの様子を知っていただく良い機会となった。

保護者や地域の方に声が届くように、一生懸命がんばりました。



学校の活動の様子をホームページや「夢がキラキラ」と題した学校新聞で伝えた。長く続けているので、保護者や地域の方にとっては、なくてはならない存在となっている。



ホームページは、平日は毎日更新しました。大きい行事のときには、300を超える閲覧数となりました。



学校新聞「夢がキラキラ」は、毎年、年間50部以上を発行しました。地域の方にも配布をしました。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ クラブの時間 ）